

**ACCU 活動メモ** 2010年7月～10月 ①実施期間 ②主催、共催団体名 ③開催場所 ④参加国、参加者数

**インドネシア公民館訪問団との意見交換会**

日本の公民館をモデルに、地域社会の学習センター CLC (Community Learning Centre) を展開しているインドネシアの訪問団と文部科学省・関係機関との「CLC/公民館の充実方策に関する意見交換会」が開かれ、ACCU 教育協力課から2名が参加しました。  
①7月22日(木) ②文部科学省・国立教育政策研究所 ③文部科学省 ④15名

**第11回東アジアユネスコ国内委員会事務総長会議で活動報告**

東アジア5カ国のユネスコ国内委員会代表が集まり、情報共有と今後の活動を共に推進する会議。ACCUはオブザーバーとして出席し、事業活動を報告しました。  
①7月28日(水) ②中国ユネスコ国内委員会 ③マカオ ④中国、モンゴル、韓国、北朝鮮、日本22名

**自然科学部の高校生とESD意見交換**

福島県立安達高等学校自然科学部の部員6名と先生2名が、3日間の夏季研修プログラムの一環としてACCUを訪問し、ESDについて意見交換をしました。  
①7月30日(金) ③ACCU ④8名



**岡山大学でESD国際実践論**

岡山大学大学院環境学研究所が、3日間の集中講座「アジア環境再生特別コース」ESD実践論を開講。昨年に続き、ACCUが「ESD国際実践論」を担当しました。  
①8月11日(水) ②岡山大学大学院環境学研究所 ③岡山大学 ④21名

**和歌山県橋本市教育フォーラムで講演**

「学校・家庭・地域 みんなで考える子育てネットワーク」をテーマにした公開教育フォーラム。ACCU事業部長柴尾智子が、「未来をつくることもたちのために～アジア諸国の教育の現状と日本の教育を比べて、今考えること」と題して全体会で講演しました。  
①8月21日(土) ②和歌山県橋本市教育委員会 ③和歌山県橋本市市民会館 ④約650名

**韓国政府日本教職員招へいプログラム**

日本の小・中・高等学校教員、大学教員および教育行政職員52名が、ソウル・清州・原州のユネスコスクールを中心とする小・中・高等学校・特別支援学校などを訪問し、交流しました。詳しくは次号で。  
①8月25日(水)～9月3日(金) ②ACCU ③韓国 ④52名

**国際識字デー**

毎年9月8日はユネスコの制定する「国際識字デー」。ACCUは「すべての人に、図書館を～9月8日は国際識字デー～ラオスからの報告」を共催。アジアでの識字事情と識字教育の大切さをビデオや資料で紹介しました。  
①9月8日(水) ②シャンティ国際ボランティア会(SVA)、国際協力機構(JICA)、ACCU ③JICA地球ひろば(東京) ④42名

**奈良文化遺産保護集団研修**

詳しくは本誌P10をご覧ください。  
①9月7日(火)～10月7日(木) ②ACCU奈良事務所 ③奈良・福岡 ④16カ国16名

**奈良世界遺産教室**

文化遺産保護に関する出張教室。今回で延べ32校での実施となりました。  
①7月12日(月) ②ACCU奈良事務所 ③奈良市立一条高校 ④37名  
①9月14日(火) ②ACCU奈良事務所 ③奈良県立高田高校 ④76名

**中国教職員招へいプログラム**

中国の小・中・高等学校の教職員等130名が全国各地の学校現場とその他の教育・文化施設を訪問し、交流しました。詳しくは次号で。  
①10月12日(火)～10月25日(月)  
②ACCU ③東京・大阪・秋田・宮城・滋賀・長崎 ④130名

**アジアにおける「持続可能な開発のための教育」ネットワーク構築ワークショップ**

食と水をテーマにアジア太平洋地域の専門家が一堂に会し、ESDの普及推進に向けて相互理解を深めました。  
①10月26日(火)～11月1日(月)  
②ACCU、秋田大学、環境技術学会 ③京都 ④日本を含む8カ国72名

**神楽坂まち飛びフェスタ ESDフォト展**

詳しくは本誌P9をご覧ください。  
①10月28日(木)～11月2日(火) ②ACCU ③飯田橋ラムラ区境ホール(東京) ④887名

**第2回ユネスコスクール全国大会開催**

「ESDで育てる“生きる力”」をテーマに、持続発展教育研究全国大会が開催されました。  
①10月29日(金)～11月2日(火)  
②(主催)文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(共催)宮城教育大学、日本持続発展教育推進フォーラム、日本ユネスコ協会連盟、ACCU ③宮城県仙台市 ④326名

**【ACCU協力】ヴェオリア・ウォーター・ジャパン社会貢献活動**

**公民館講座で「ミナの村と川」上映される**

「水」をテーマに、ヴェオリア・ウォーター・ジャパン\*と千葉県千葉市宮崎公民館が子供向け環境教育プログラムを協働、実施しました。昨年に続いてACCUも協力し、8月24日(火)に開催された「子ども水の探検隊」プログラムで環境アニメ「ミナの村と川」を上映しました。



写真提供：ヴェオリア・ウォーター・ジャパン

参加後のアンケートでは「ビデオが面白かった」、「いろんな事がわかってよかった」、「水が汚いと、魚や鳥や人間が病気でなくなってしまうんだなと思った」など、プログラムは大好評!

進行役を務めたヴェオリア・ウォーター・ジャパン コミュニケーション担当の若松明子さんは、「少しでも子どもたちの中に水を大事にしなければ、という気持ちが残ってくれば」との思いでこのプログラムを実施しているとのことですが、39名の子どもたちはその思いをしっかりと受け止めてくれたようです。参加スタッフも元気一杯の子どもたちと一緒にグループワークを楽しみました。

\*生活に欠かせない水に関わるサービス事業を展開する世界的企業。地域の持続可能な発展に貢献することを重視し、水をテーマに、主に小学生向けの環境教育に取り組んでいる。ACCU法人維持会員。